

機械器具 55 医療用洗浄器
一般医療機器 器具除染用洗浄器 JMDN コード 35424000

バイオソニック超音波洗浄器

【形状・構造及び原理等】

**1. 概要

本品は、超音波の発生による歯科用器具等の洗浄を目的とする。

2. 形状・構成



分類		名称
本体	1	UC150 Cleaner Unit USA Plug Type A (洗浄器ユニット、米国プラグタイプA)
		UC150 Cleaner Unit JAP Plug Type AJ (洗浄器ユニット、日本プラグタイプAJ)
構成品	2	ディスプレイ
	3	バスケット
	4	排水ホース
	5	電源コード
	6	ビルドイン用クッション

付属品

- (a) バスケット
- (b) ビーカーホルダー
- (c) ビーカー、カバー用ポジショニング・リング
- (d) UC150 交換用排水フィルター
- (e) UC150 交換用排水ホース
- (f) UC150 交換用蓋
- (g) UC150 ビルドイン用クッション
- (h) アクセサリーキット (バスケット、ビーカーホルダー、ビーカー、カバー用ポジショニング・リング)

*3. 寸法及び仕様

名称	長さ(mm)	幅(mm)	高さ(mm)	重量(g)
本体	345	276	355	4700

本体容量 6.6 L (使用可能容量 5.7 L)

【使用目的又は効果】

** 超音波の発生による歯科用器具等の洗浄

**【使用方法等】

1. 使用前の準備
 - 1) シンクの近くの、水平な台に設置する。
 - 2) ホースの片端を排水弁に接続し、もう一方をシンクに設置する。
 - 3) ディスプレイを接続する。
 - 4) 電源と接続する。
 - 5) 排水ノブが完全に「閉じる」位置になっていることを確認し、満水位置の指示線まで温水を入れる。
 - 6) 洗浄液を加える。
 - 7) 取扱説明書に従ってガス抜きを実行する。
2. 使用
 - 1) モードを選択する。
 - 2) 器具をバスケットまたはビーカーに入れて蓋をする。
 - 3) 洗浄を開始する。
3. 使用後
 - 1) 排水ノブを時計回りに完全に回し、「開く」位置にして、タンクの液をシンクに排出する。
 - 2) タンクをすすぎ、排水ノブを反時計回りに完全に回し、「閉じる」位置にする。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- ・すべての接続を終えるまで、本品の電源を入れない。
- ・本品は、アース端子に接続する。
- ・タンク内の液は、毎日交換する。
- ・タンク内の液が汚れているか、変色しているように見える場合は、早期に交換する。
- ・ビーカーを使用する場合、ビーカーの中の液を使用毎に交換する。
- ・洗浄液を入れていない状態で本品を動作させない。
- ・タンクの底部に器具を直接設置せず、必ず付属バスケット、またはビーカーを使用する。
- ・不要なガスが液に入らないように注意する。タンクに溶液を急に注がない。洗浄する製品を急に入れたり、取り出したり、タンク内で移動させたりしないよう注意する。急な動作により、液にガスが再び入り、より長時間のガス抜きサイクルが必要となる。

- ・タンクに新しい液を追加する度に、ガス抜きが必要である。
- ・洗浄サイクルの途中で、新たに器具を追加しない。最初に入っていた器具と比較し、追加された器具が効果的に洗浄されないことがある。また、追加の器具を加えることで、最初に入れていた器具の上に汚れた器具を載せることになり、洗浄量が多くなるため、洗浄効果にも悪影響を与える。
- ・本品の後部に少なくとも 5 cm の隙間を確保する。
- ・本品を水に浸さない。
- ・ディスプレイの表面を濡らさない。
- ・動作中は、タンクに手を入れない。

****【使用上の注意】**

＜重要な基本的注意＞

- ・汚れを蓄積させない。
- ・清掃の際に、スチール、ステンレスウール、もしくはスクレーパを使用しない。また、漂白剤またはステンレスに損傷を与える洗剤を使用しない。

****【保守・点検に係る事項】**

＜使用者による保守点検事項＞

- 1) 清潔な布に中性洗剤を含浸させ、清掃する。
- 2) 清掃後は、純水で濯ぎ、乾燥させる。

****【保管方法及び有効期間等】**

＜保管方法＞

- ・保管温度：0°C–45°C

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：AJMD 株式会社

電話番号： 03-5614-0733

製造業者： コルテーン／ウェルデント社

国名： スイス

販売業者： コルテンジャパン合同会社

電話番号： 042-595-6945